

コーラルテックス施工要領（新築～ボードの上から～ローラー仕上げ編）

ご用意いただくもの

- ☐ コーラルテックス
- ☐ 砂骨ローラー（推奨品 細目 6 インチ）
- ☐ ローラーフレーム
- ☐ ローラーバケット
- ☐ ひしゃく
- ☐ 霧吹き
- ☐ アクリル フィーラー ジョイント コンパウンド
- ☐ ファイバー ジョイント テープ 幅 50mm
- ☐ ペーパー ジョイント テープ 幅 50mm（※テーパーエッジ石膏ボードの場合）
- ☐ アク止めシーラー（※下地に木、又はベニア板がある場合）
- ☐ 養生テープ（推奨品 養生テープ 24mm 以上）
- ☐ マスカー（推奨品 マスカー 1100mm）
- ☐ ブルーシート
- ☐ 道具洗浄用ブラシ
- ☐ ペーパータオル

作業手順

① 養生

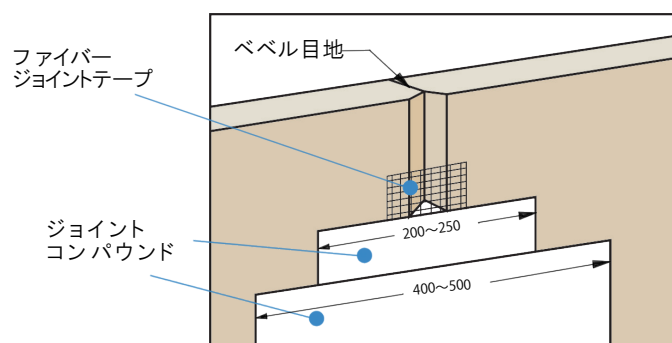
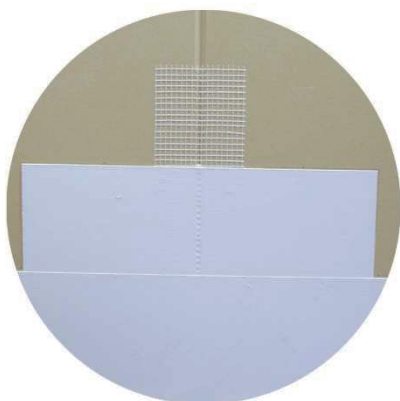
コーラルテックスがついては困るところを養生します。

床はマスカーで、その他は養生テープを使用します。

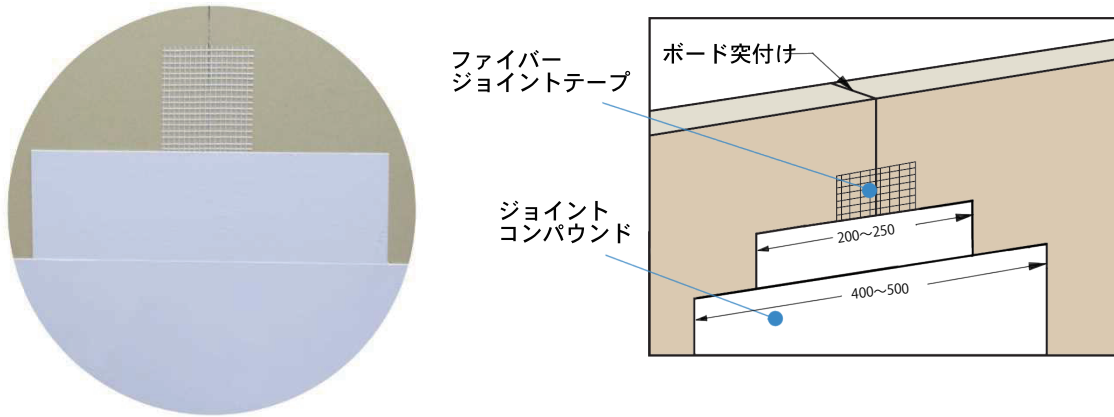
② 下地処理

（ベベルジョイント石膏ボード・石膏ボード突付け部・入隅部・出隅部）

ベベルジョイント石膏ボード



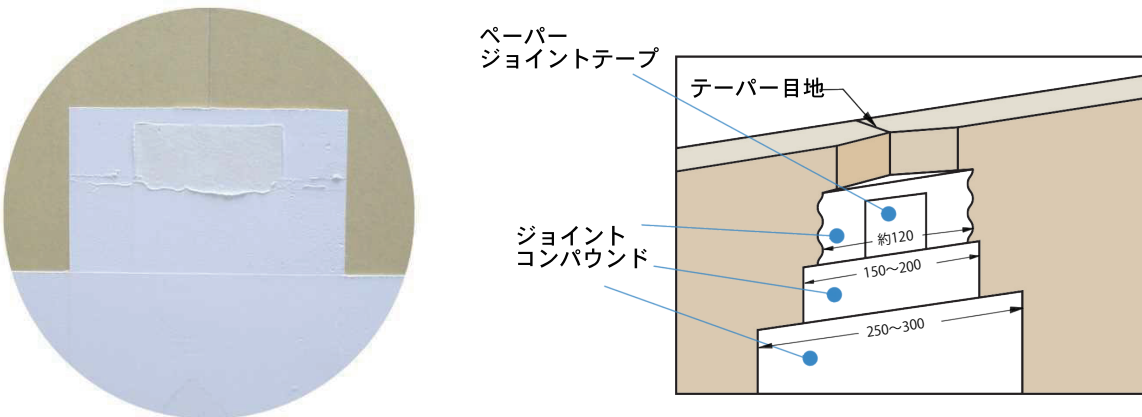
石膏ボード突付け部・入隅部・出隅部



- (1) ファイバー ジョイント テープ (のり付) を石膏ボードのジョイント部、入隅部、出隅部に張ります。
天井の高さ分、テープのジョイントが無いようにテープを張りますが、
どうしてもジョイントしたい場合は 100mm 重ねてください。
- (2) アクリル フィーラー ジョイント コンパウンドを開封し、そのまま（水希釈せず）釘の凹み、
不陸（凸凹部）、ファイバー ジョイント テープ上に幅 175mm 厚さ 1.0mm 程度をヘラ又はコテで
塗布し、乾燥時間を 5 時間程度とります。
アクリル フィーラー ジョイント コンパウンドは、少量の水を霧吹きで吹きかけ、フタを閉めて
保管します。（市販の水、一度沸騰させた水を使用すると、より保管期間が延ばせます。）
- (3) 乾燥したアクリル フィーラー ジョイント コンパウンドの大きな凸をヘラ又はコテでケレンをして
ください。再びアクリル フィーラー ジョイント コンパウンドでジョイント部に幅 250mm 程度を
目安に出来るだけ薄く、ジョイントが仕上げに出ない事をイメージして不陸（凸凹）を調整します。

② 下地処理（テーパージョイント石膏ボードの場合）

テーパージョイント石膏ボード



- (1) アクリル フィーラー ジョイント コンパウンドを開封し、そのまま（水希釈せず）石膏ボードの
テーパージョイント部 幅 100mm 程度をヘラ又はコテでムラなく塗布し、乾かない内に追っかけで
ペーパー ジョイント テープを空気がテープの裏面に入らないようにヘラ又はコテでしごきながら
テープを圧着させます。テープは、天井の高さ分、ジョイントが無いように張りますが、
どうしてもジョイントしたい場合はアクリル フィーラー ジョイント コンパウンドをテープ間に入れて
100mm 重ねてください。
アクリル フィーラー ジョイント コンパウンドは、少量の水を霧吹きで吹きかけ、フタを閉めて
保管します。（市販の水、一度沸騰させた水を使用すると、より保管期間が延ばせます。）
乾燥時間を 5 時間程度とります。

(2) 乾燥したアクリル フィーラー ジョイント コンパウンドの大きな凸をヘラ又はコテでケレンをしてください。再びアクリル フィーラー ジョイント コンパウンドでペーパー ジョイント テープ上に幅 150mm 厚さ 1.0mm 程度を目安にジョイントが仕上げに出ない事をイメージして不陸（凸凹）を調整します。釘の凹み、不陸（凸凹部）も併せて、アクリル フィーラー ジョイント コンパウンドを塗布し下地を平滑に調整します。

アクリル フィーラー ジョイント コンパウンドは、少量の水を霧吹きで吹きかけ、フタを閉めて保管します。乾燥時間を 5 時間程度とります。

(3) 乾燥したアクリル フィーラー ジョイント コンパウンドの大きな凸をヘラ又はコテでケレンをしてください。再びアクリル フィーラー ジョイント コンパウンドでジョイント部に幅 250mm ～ 300mm を目安に出来るだけ薄く、ジョイントが仕上げに出ない事をイメージして不陸（凸凹）を調整します。



②下地処理のイメージ

③ コーラルテックスの塗布【下塗り】

下地処理の工程②が乾いた後（1 日以上を推奨します。）、再度①の要領で養生を行います。

コーラルテックスを開封し、乾燥したカスや粉が入った場合は取り除きます。ひしゃくでバケットに移します。

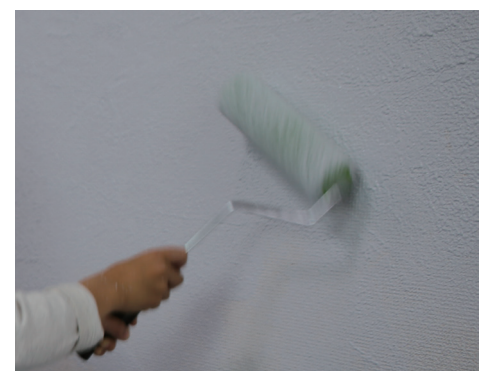
専用の砂骨ローラーをフレームに装着し、バケットに浸けて、コーラルテックスが落ちない程度にバケット内の網目で落とし、壁の隅から塗り始めます。

霧吹きで水が滴り落ちない程度に壁に付着したコーラルテックスに水を与え、砂骨ローラーで、模様と厚みが均一となるようによくのばします。（20kg 缶に約 1～2L の水を加え、よく混ぜて頂いても結構です。水は水道水で結構ですが、市販の水や一度沸騰させた水を使用するとより保存が効きます。）

壁一面が塗り終わるまで、塗った際が乾かないように霧吹きで水を与えながら、均一に仕上がるよう施工をしてください。

※ 細かい欠点は気にせず大きな面としての美観を意識してください。

※ やや乾燥した箇所を補修する場合、霧吹きで水が垂れない程度に吹き付けて補修をしてください。



④ コーラルテックスの塗布【上塗り】

③の要領でもう一度繰り返します。